

|                 |   |  |  |
|-----------------|---|--|--|
| 諸室・実施プログラム      | 修理再生室／「どきどき。トライ！」   |  |  |
| プログラム名          | 手すき(和)紙作り ※和紙に関してはかぐや姫ミュージアムと連携   |  |  |
| 類型              |   |  |  |
| サブプログラム名        | 牛乳パックを使った再生紙づくり   |  |  |
| ねらい             | 牛乳パックから紙を作ることでごみ減量と物の大切さを学ぶ   |  |  |
| 展開方法            |   |  |  |
| 所要時間<br>(検討中)   | 予約(当日申込み OK)して2時間程度で作成  |  |  |
| 開催頻度            |   |  |  |
| 対象と定員<br>(検討中)  | 10組   |  |  |
| 場所、面積           | 修理再生室、または食材再生室  | 講師                                     |  |
| 設備・備品           | ミキサー 4個<br>バットまたはたらい 20個<br>木枠(ざるそばの枠可) 20個   | 木枠に合わせた網 20個<br>アイロン 4個<br>紙漉きセット 4セット |  |
| 内容と進め方<br>(検討中) | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 牛乳パックは各自で持参</li> <li>● 紙すきセットを使って、ハガキサイズの再生紙を作る<br/>カレンダーや紙のお皿など</li> </ul>  |  |  |
| 運営・進行           | ボランティアスタッフが指導。前回使用の溶液を無駄にせず絞って取っておく、  |  |  |
| 有識者からのヒアリング結果   | <p>設備備品について</p> <p>紙の漉き方によっても変わってくるが初心者の場合ハガキサイズ以上の紙を作ることは困難。はがき用の漉き枠は教材で販売しているので買うことが望ましい。多くの人数を短期間で対応するようであれば、脱水機や乾燥機が必要となる。20人程度の流し漉きをする上で、最低限、<u>テンバコ1個、バット1個、バット用網1個、バケツ2個、ボウル1個、オタマ1個、アイロン1台、ステンレス板1枚、漉き枠5個、脱水用ジャッキ等</u>または脱水機1台、布(人数分)、かき混ぜ棒1個、乾燥板または乾燥機、原料、ネリが必要である。</p> <p>本格的な紙づくりに関しても、使用する道具はほぼ同様となるが流し漉きの場合漉き枠は専門のものをしようすることになる。管理やメンテナンスの面で、専門的な知識が必要となる。溜め漉きであれば専門的な技術がなくてもそれなりの紙は漉けるし漉き枠も作りやすい。</p> |  |  |